

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	国語	学年	1	担当者	粕谷・忍田
----	----	----	---	-----	-------

◇ 国語科の目標

確かな言語能力の育成と一人一人の能力の伸長

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	言葉に出会うために ・野原はうたう (休校中の課題) 1 学びをひらく ・花曇りの向こう (休校中の課題) 2 新しい視点へ ・ダイコンは大きな根? ・ちょっと立ち止まって ・声を届ける／書き留める／調べる	10	・調べたことを報告しよう ・漢字の音訓 ・指示する語句と接続する語句 5 いにしえの心に触れる ・音読を楽しもう「いろは歌」 ・月に思う ・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から ・今に生きる言葉
7	3 言葉をつなぐ ・詩の世界 ・「好きなもの」を紹介しよう ・話し言葉と書き言葉 ・わかりやすく説明しよう	11	6 論点を捉えて ・幻の魚は生きていた ・話題や方向を捉えて話し合おう ・竹 書写 書き初め 12 ・言葉の関係を考えよう ・桜守三代
8	・漢字の組み立てと部首 ・言葉を集めよう ・空を見上げて ・言葉のまとまりを考えよう	1	7 自分を見つめて ・少年の日の思い出 ・さまざまな表現技法 ・漢字の成り立ち 2 ・印象深く思いを伝えよう 3 ・単語の性質を見つけよう ・一年間の学びを振り返ろう ・ぼくが ここに
9	4 つながりの中で ・星の花が降るころに ・大人になれなかった弟たちに…… ・シカの「落ち穂拾い」		

◇ 評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法	%
関心・意欲・態度	国語の学習に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする力	定期テスト・授業の取組・提出物 (ノート・ワーク等) 硬筆・書き初め	20
話すこと 聞くこと	自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、話し合ったりする力、話し手の意図を考えながら聞く力	授業の発言・音読・スピーチ・話し合い活動・リスニング	20
書くこと	自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、相手や場面に応じ、構成を考えて的確に文章に書く力	定期テスト・授業の課題 (感想)・作文課題・詩などの創作	20
読むこと	目的や意図に応じて様々な文章を読み、内容や要旨を捉える力、また読書を通して見方や考え方を広げようとする力	定期テスト・授業の取組・作品の内容理解	20
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身に付ける力。書写では文字を正しく整えて速く書く力	定期テスト・漢字スキル 古文暗唱・硬筆・書き初め	20

◇ 学習のアドバイス

毎時間の漢字スキルを真剣に取り組み、知識を増やしてください。授業では、自分の考えを恥ずかしがらずに発表したり、ノートに書いたりしてください。テストで点数を取るには、ワークや文法の問題集を繰り返し解くことです。また積極的に読書をして、言葉を増やしましょう。

〔家庭学習の仕方〕

- ・漢字スキルは予習・復習で勉強しやすいと思います。テストで毎回90点以上を狙ってください。
- ・教科書など知らない言葉の意味を調べてください。言葉の数は多い方が何事にもプラスになります。
- ・文法は復習を中心に行ってください。積み重ねの学習なので、何度やっても効果があります。